

## 下浜地区の伝統文化

### 羽川剣ばやし(秋田市無形民俗文化財)

#### 1 歴史、概要

羽川剣ばやしは、現秋田市下浜羽川地区を治めた羽川小太郎義植が天正年間に大曲城を攻め落とした際に、戦勝の酒盛りで自らが剣を振るって踊り、居合わせた人々には、銀扇を与えて舞わせたのが始まりとされている。

時代とともに剣舞はすたれ、囃子と扇を用いた婦女子の舞う奥ゆかしい優雅な踊りが「羽川剣ばやし」として受け継がれ、八幡神社祭典に五穀豊穰と地区の安全を願って披露されるようになった。



#### 2 継承のための取組み

- ◆昭和 50 年度から、羽川剣ばやし保存会の方々から指導を仰ぐ。
- ◆踊り、太鼓、笛のパートに分かれ、平成 30 年度からは、秋田市出身のジャズダンサー YOSHITAKA さんの振り付けによる剣の舞も取り入れている。
- ◆扇の舞（女性）は、白衣に紺袴を着用し、金銀の扇を使用して優雅に舞い、剣の舞（男性）は、黒衣に銀袴を着用し、刀剣を使用して力強く舞う。囃子方は、大・中・小の太鼓と笛、鼓、摺り抄で構成されている。
- ◆下浜中祭や羽川八幡神社祭典での奉納、各種のイベントで披露している。
- ◆令和 2 年度は、学校の教育活動として年間 11 時間の総合的な学習の時間（伝統芸能継承活動）を設定し、熱心に練習に取り組んだ。
- ◆はねかわ保育所、下浜小学校でも伝承活動が継続されており、生徒たちは「脈々と伝え継がれてきた地域の宝である羽川剣ばやしを、地域の一員としてこれからも大切に受け継ぎ、誇りをもって伝承していきたい」という思いで活動している。

#### 3 その他(主な年中行事など)

- |         |                    |
|---------|--------------------|
| 5 月     | 羽川剣ばやしオリエンテーション    |
| 6 月～9 月 | 踊り、笛、太鼓のパートに分かれて練習 |
| 7 月、9 月 | 小中合同練習             |
| 9 月     | 下浜中祭で発表、八幡神社祭典で奉納  |